

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 6 月 15 日 (2006.6.15)

【公開番号】特開 2005-273708 (P2005-273708A)
 【公開日】平成 17 年 10 月 6 日 (2005.10.6)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-039
 【出願番号】特願 2004-84857 (P2004-84857)
 【国際特許分類】

F 1 6 K 1/00 (2006.01)

F 1 6 K 31/122 (2006.01)

【F I】

F 1 6 K 1/00 E

F 1 6 K 31/122

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 4 月 28 日 (2006.4.28)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

入力ポートに連通し前記入力ポートの流路方向と垂直に形成された弁孔と出力ポート連通部とが設けられた弁本体を有する流体制御弁において、

前記弁孔の出力ポート連通部側の端面における前記弁孔の断面積を S_1 とし

前記出力ポート連通部の断面積を S_2 としたときに、

$S_1 : S_2 = 1 : \underline{3.3}$ 以上が成立することを特徴とする弁本体を有する流体制御弁。

【請求項 2】

請求項 1 の流体制御弁において、

前記端面における前記弁孔の断面の外周は円に形成され、

前記端面における前記出力ポート連通部の断面は、前記外周と同心円の環状に形成された第 1 部分と、

前記第 1 部分の外周の所定の位置における接線により前記出力ポートの流路内壁の端部と直線で繋がるように外周が形成された第 2 部分とから形成されることを特徴とする流体制御弁。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 の流体制御弁において、

前記入力ポートの流体供給口から前記弁孔の入力ポート側端面までの流路が、略円筒形状に形成されることを特徴とする弁本体を有する流体制御弁。